

NHK 宇都宮放送局「とちぎ 630」で京福会の障害者雇用が紹介されました

2026 年 9 月 30 日、NHK 宇都宮放送局「とちぎ 630」において、障害者雇用をテーマとした特集「障害者雇用率引き上げ 定着の鍵は」が放送され、社会福祉法人京福会の取り組みが紹介されました。

今回の特集では、2026 年 7 月から民間企業の法定障害者雇用率が 2.7%に引き上げられたことを背景に、障害のある方の雇用を進めるだけでなく、職場で長く働き続けるためには何が必要なのかが取り上げられました。

京福会では、障害者雇用を法定雇用率を満たすための取り組みとしてではなく、一人ひとりの強みや事情に合わせて仕事内容や働き方を考える、通常の人材マネジメントの一つとして捉えています。

番組では、特別養護老人ホーム寿山荘ランチさきたまに勤務する職員が、実際に働く様子や、本人へのインタビューが放映され、障害者手帳の取得をきっかけに、医師の勧めや本人の希望、体調などを踏まえて業務内容を見直し、現在の仕事につながった事例について紹介されました。

京福会では、障害の有無にかかわらず、育児や介護、健康上の事情、年齢、国籍など、一人ひとりが異なる事情を抱えながら働いています。私たちは、そうした違いを前提として、それぞれの職員が持っている力を発揮できる仕事や働き方を考えていくことが、これからの人材マネジメントにおいて重要だと考えています。

今回の放送を通じて、障害者雇用を「法定雇用率を達成するための取り組み」としてだけでなく、一人ひとりが職場の中で役割を持ち、力を発揮するための人材マネジメントとして考えるきっかけが広がれば幸いです。

NHK 宇都宮放送局の皆様、このたびは京福会の取り組みを丁寧に取材・紹介していただき、ありがとうございました。